

チクバ外科広報誌 vol.20

2018. October

はなし×ちくば

かける

特集 開設50周年に向かう挑戦

Chikuba Hospital
for Gastrointestinal and Colorectal Surgery

特集

開設

50th Anniversary

周年

に

向

か

う

挑

戦

「診療編」



理事長 竹馬 彰

昨年末より始まった増築工事が完成しました。引越しも終わりのよい、既存棟の改装工事が始まります。患者さんをはじめ当院にいらしていただく皆さんには今しばらくご不自由をおかけいたします。

前回の稿で今回の増築・改装工事の目的を二つお話ししました。第一は患者さんへの診療サービスの向上、第二は職場環境の改善です。今回は第二の目的をもう少し詳しくお話ししましょう。

当院は「大腸肛門領域の疾患を中心にした消化器専門病院として地域医療に貢献すること」を理念としております。今までもこの理念に沿って診療サービスを拡充させてまいりました。しかしまだ肛門領域の専門病院としてできていなかったことがあります。それが「肛門の機能性疾患」に対する専門的な取り組みです。今後、嶋村副院長を中心としてこの領域にもより緻密に取り組んでまいります。

これまで直腸脱、直腸瘤、肛門括約筋不全、会陰

裂傷などの肛門機能が障害を受けたことによる疾患に対する手術を行ってまいりました。高齢化が進む昨今、肛門機能の低下による悩みを抱えている方はますます増えております。そこで今後は手術の対象にならない肛門の機能性疾患に対する診断と治療をさらに進めてまいります。すなわち「頑固な便秘」「便やおならが漏れる」「便通が不安定」などの症状を様々なアプローチを通して解決できるようサポートしていきます。そのために「直腸肛門内圧検査」「排便造影検査」「肛門超音波検査」「バイオフィードバック法による肛門括約筋の機能訓練」などを取り入れてまいります。直腸肛門内圧検査を行うことによっておもに肛門の「しまり」具合を数値化



します。そして適応のある方にはバイオフィードバック法を用いて肛門の「しまり」具合を改善する機能訓練を行います。排便時造影検査は直腸脱や直腸瘤の状態を確認する検査です。この検査によって手術方法のより詳細な検討が可能になります。そのほかにも順次直腸肛門機能検査を拡充できるような努めてまいります。

また従来からの診療も拡充してまいります。一つは内視鏡センターの設置です。「胃カメラ」「大腸カメラ」と言われる上・下部の消化管内視鏡検査も検査室を一部屋増やし今後の検査数の増加に対応できるように準備を整えています。よりスムーズに内視鏡検査を受けていただけるようスタッフ一同努力してまいります。

潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患（IBD）に対する診療も充実させていく準備を整えていきIBDセンターを開設していきます。岡山県下の炎症性腸疾患治療においては岡山大学病院消化器内科、川崎医科大学食道・胃腸内科にならんで多くの患者さんに当院を利用していただいています。今までも内科的治療から外科的治療まで一貫して行えるよう努力してまいりましたが、今後その体制をさらに充実させるべく努力していきます。

このように「大腸肛門領域」の疾患に対する検査・診断から内科的・外科的治療までを幅広く手がけていけるようこれからも邁進してまいります。どうぞご期待ください。



第1弾

増改築 NEWS

内視鏡センターリニューアル 第4内視鏡検査室稼働

生活習慣病予防検診の検査内容が変更され、「胃がん検診」に内視鏡検査が追加になりました。年々、内視鏡検査数も増えている状況で、検査予約の待ち期間短縮が課題となっておりました。また、患者さん及び同伴の皆様の待合室では、長時間滞在に配慮した環境をご提供できるよう工夫しています。



受付カウンター



更衣室



下剤服用スペース



ロッカー



待ち合い

医療 いま昔 事情

Medical Circumstances

話山方四療診門肛

夫 隆 上 瀧 院 長



前回まで内視鏡の話を書かせて頂きましたが、今回から肛門診療について書くことになりました。四方山(よもやま)話とは、広辞苑を紐解いてみると『種々雑多な話。取り留めない、どうでもよい話』とあります。ご理解頂き、ご笑読頂ければ幸いです。

私は現在『全国で○本の指が入る肛(こう)門科医』であると自負しています。その経緯(いきさつ)をお話します。

私は大学3年生(医学部では学Iという)の時、痔瘻を患い、私の師事しています現会長の竹馬浩先生に手術をして頂いたのが、今のご縁です。それ以来、お尻は切られても縁は切れず、未だに何かにつけて尻拭いをして頂いています。学Iの春、お尻の周りにしこりができ、当時は痔瘻のじの字も知らず、何か悪い物に取り憑かれたなと心配していました。しこりも日増しに大

きくなり、今日病院に行くか、明日行くかかと迷っていました。痛みもいよいよ強くなり、歩くのもやっと、というほどになった為、ついに大学病院受診を決心したのが、水曜日のある日だったのです。今もですが、大学病院の月・水・金曜日は第一外科(消化器外科)の診察日、火・木・土曜日が第二外科(呼吸器・心臓外科)の診察日でした。水曜日の、当時第一外科助教授、岡嶋邦雄先生(元大阪医科大学教授)の診察を受けました。「瀧上君、これは痔瘻だ。手術しないと治らんよ」と言われ、大病院で手術することになっていました。

そうしていると、当時の医局長でした山本泰久先生(現おおもと病院理事長)が、「瀧上君、手術は大学でせんほうがええ、僕が良い所を紹介してあげるから行きなさい」と紹介して頂いたのが当時のチクバ外科でした。何よりも心を動かされたのが、「部屋代はタダにして貰ってあげるから」という言葉でした。(つづく)

当院のスペシャリストを紹介する

Special One

医事課 主任 渡辺 三代子



チームワークは抜群。医事課で奔走する
若き主任にインタビューしました！

チクバ外科に入職して感じたことは？

先輩たちがとても明るくて優しい。そんな先輩たちが行う受付対応はピカイチで、受付には診察待ちならぬ受付嬢待ちができていました。

また、当時新人の私にどんどん新しいことをチャレンジさせてくれました。未熟な私の意見にも否定することなくきちんと耳を傾けて下さり、「新しい人が入ってきたときは新しい風が吹く時だから貴重なのよ！」と私にも様々なチャンスを与えて下さいました。

その時のチャレンジ精神が主任になった今活かされていると思います。

医事課の主任として心がけていることは？

病院の根幹である保険診療の知識を片手に、総勢13名の医事課職員が院内3箇所の（総合外来・内視鏡）受付と入院・外来の会計計算、電話対応等多岐に渡る業務に日々精進しています。そしてその業務を円滑に行うために業務連絡は欠かせません。

医事課の主任を拝命してまず「伝えることの難しさ」に直面しました。日々目まぐるしく変化する医療情勢に対応するため、追加される業務連絡も膨大です。世代や経験年数も違うスタッフにいかにも迅速正確に伝えられるかというのが至難で、マニュアルを作っても受取り側の価値観で全く違うように捉えてしまうこともありました。

また、拝命当初は私も説明することに一生懸命で二人一人の顔を見る余裕がなく、スタッフが????な顔をしていても気づかないこと

もありました。

業務連絡は発信するだけじゃダメなんだ、きちんと相手に伝わったのを確認して初めて意味を成すのだなと実感しました。それ以降、ハテナ顔のスタッフには再度伝達し、業務の途中経過でも声掛けや確認をするようにしています。

もう一つ私が主任の役割として心がけていることがあります。それは私が先輩方から教わった仕事のやり方・姿勢を次の世代につなげていくということです。今、医事課には若くやる気みなぎるスタッフが大勢います。

前述の通り、今の私があるのは先輩方の支えがあつてのこと。エネルギーを後輩たちにもチクバ外科に新しい風をビュンビュン吹かしてくれることを期待しています。

趣味やリフレッシュ法はありますか？

自他共に認める大雑把なので意外と言われるかもしれませんが、ピアス作りが好きです。

ネットで取り寄せたパーツを机いっぱいに並べて、二つつ組み合わせを考えながら自分好みのピアスを作るのが楽しいです。3歳8歳の子供たちも、こんなのもかわいい？と一緒にデザインしてくれます。

二人とも息子なので私よりかわいいピアスを作ると少しヒヤヒヤしてしまう母です。

業務は迅速・正確でありながら、物腰柔らかかな受付対応にスタッフはギャップ萌えの毎日です♡



IBD

Inflammatory Bowel Disease

患者講習会

3
年
回
開
催



当院では、潰瘍性大腸炎・クローン病患者さん向けの患者講習会を年3回実施しています。

患者講習会は大きく分けて、①料理講習会、②医師の講義、③患者講演会の3つの形式で行っています。

まず、料理講習会についてです。病気だからといって食べる楽しみを諦めて欲しくない、できるだけ周りの人と同じ物を食べて欲しいという思いで、レシピ作りをし、講習会を行っています。毎回多くの参加があり、わきあいあいと調理を行っています。

次に医師の講義では、IBDについて、基礎的な病気の話から最新の治療や薬についてなど、分かりやすい講義となっています。終了後は多くの方が日頃の悩みや普段聞けないことを少しでも解消できる様、質問の時間を設けています。

最後に患者講演会では、実際にIBD患者さんに、病気を通して感じたこと、栄養療法の重要性などご自身の体験を中心にお話いただいています。参加した方からは「すっと心にはいつてきた」「励みになった」との声をいただいています。

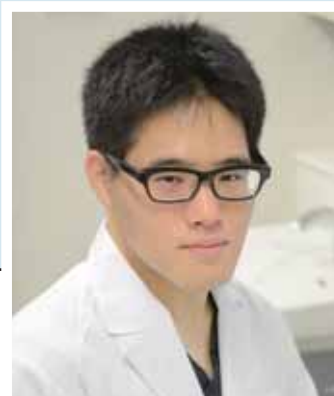
今後も患者さんが病気と付き合いしていくための情報提供や交流の場となり、少しでもお役に立てるような会を作っていきたいと思っています。



当院に新しく入った医師を紹介する

New Doctor

医師 森 千浩



若いドクターは当院に
新しい風を吹き込んでくれます。

医師を目指したきっかけは？

父が薬剤師で母が看護師ということもあり医療系の仕事に興味を持ちやすい環境で育ったことがあります。また私が高校生の際に父が手術を受けた際の主治医の先生の姿を見て、憧れを抱いたこともありますね。

チクバ外科胃腸科肛門科病院にこられた
きっかけについて教えてください。

現在、私は倉敷中央病院で外科を専攻しており、普段は癌や炎症性疾患の治療に携わっておりますが、肛門疾患を診ることがほとんどありませんでした。全国で有数の肛門疾患専門病院との評判を伺い、こちらで半年間にわたり肛門疾患や内視鏡の勉強をさせていただくために参りました。

チクバ外科胃腸科肛門科病院に入ってみ
て実際のいかがでしたか？

高い専門性を持って診療されていることに加えて、挨拶を欠かさずスタッフ間の連携も良くとれているのが印象的でした。また現在増改築工事中ではありますが、患者さんにとってもスタッフにとってもすこしやさしい環境が整いつつあることが素晴らしいと思います。

日々の診療で、心掛けている事は？

我々にとってよくある疾患も、患者さんにとっては一生に何度もあるものではないと肝に銘じております。たとえ重症度分類で軽症に分類されていても、我々が思う以上に重く捉えていらつしやることも多く、そういった気持ちを理解した上で真摯に丁寧な

診療をしていきたいですね。

年上の方が多いのですが、緊張されますか？

もちろんまったく緊張がなかったわけではありませんが、瀧上院長をはじめとしたスタッフの皆様が日々の多忙な診療の合間に私に対して温かく接して下さっているおかげで、現在ではとても気持ちよく診療に携わっております。

今後の抱負をお教えてください。

まずはこちらの特徴である肛門疾患についての外来・病棟手術場での診療について理解を深めていきたいです。また経験豊富な先生方が多くいらつしやるので、治療など医学的なことについてのみならずひとつひとつの所作や患者さんへの向き合い方などを盗める部分は盗んで行きたいです。

趣味やプライベートの楽しみは？

最近では機会が減りつつありますが、自動車でのドライブが好きです。スピードを出して走るといふよりは、田舎にある、酷道と呼ばれるような狭くて、やや路面の荒れたような国道を走ったりするのが好きですね。誰も通らないような山道を抜けて、町に出たときに小さな喜びを感じますね。

ご自身を動物にたとえるなら、

あまり考えたことがないのでインターネットで動物占いをしてみましたら、『ゾウ』という結果でした。『信念が強く、やると決めたらやり遂げる』タイプと書いてありました。結果にたがわぬ様にこれからも精進して行きたいと思えます。

チクバ外科のフラワーロード



職員駐車場から病院までのおよそ100mの川縁には四季折々の花が咲く。勝手に咲く花もあるが、夏はマーガレット、ヒマワリとアガパンサスだ。皆が爽やかな気持ちで働けるようにと祈って。

ヒマワリのタネを5袋買いい苗床に撒いてから30センチ間隔に80本、花が皆の方に向くように育てるのは決して楽ではない。肥料や添え木作業は佐久間さんと会長の熱意だ。一方、アガパンサスは植えっ放しで楽だ。



「職員からのひと言」

フラワーロードに咲く花々に季節を感じ元気をもたせて、その日の勤務をスタートさせます。

近所の方々の散歩コースでもあり、立ち止まって花を愛でる姿に遭遇すると職員としてうれしい気持ちになりますね。

期待のニューフェイス

太田成実

NARUMI OOTA

医事課勤務

趣味・ストレス解消法

自然を楽しむスポーツや遊び・旅行・お酒を飲むこと

好きな言葉

志は才能を凌ぐ

いつも感謝の気持ちを忘れず、俯瞰して物事を捉えられるようにしてゆきたいです。



期待のニューフェイス

高橋宏明

HIROAKI TAKAHASHI

医事課勤務

趣味・ストレス解消法

趣味はドライブです。学生の頃、夏休み1ヶ月の間に鳥取に計5回以上、またいろんなどろに行きました。

好きな言葉

人生楽しく笑顔で

新卒として医事課に入職しました。当院最年少の21歳なので様々なことを吸収し、活用できるよう日々の業務に取り組みたいと思います。



スタッフ紹介



わが街健康プロジェクト。

～心かよう地域医療～
love our community



～地域の医療機関と連携・活動しています～

超高齢者時代が到来する前に、市民の皆様と医療従事者とが地域医療についてともに考える双方向コミュニケーションの場を…と考え、2013年、倉敷市内を中心とした13病院が集い、「わが街健康プロジェクト」はスタートしました。
共催医療機関は現在、24医療機関となり当院も活動に参加しています。

「病院それぞれが役割を担い連携していることを、知っていただきたい…」という願いのもと、急性期といわれる患者さんにとって厳しい時期の治療を担う病院、そこから少し病状が落ち着いて回復に向かう時期を担う病院、療養期間を支える病院、かかりつけ医など、さまざまな役割の医療機関が一緒になって取り組んでいます。

わが街健康プロジェクトは、地域住民の皆様と医療従事者との対話型企画です。

倉敷市を中心とした24医療機関が共催しており、

「共に考える地域医療」「心かよう地域医療」を目指して活動しています。

私たちの想いーテーマ・ロゴ

- ①上にかかる虹:明るい未来
- ②中央のイラスト:美観地区の蔵(各コミュニティー)
- ③手をつなぐ人々:地域を支える人

3つの活動テーマを掲げ取り組んでいます

- ①医療機関と上手に付き合う
- ②病気の予防と健康維持
- ③倉敷をもっと好きになる

講演会(年4回開催)

健康維持に関する講演や地域医療連携についての講演があります。

サポーターズミーティング(年2回開催)

ミニレクチャー(地域医療について)の後、クイズ、グループでの意見交換。

入院で提供している食事を特集

★チクバ自慢の人気メニュー★

きのこ野菜たっぷり ペペロンチーノ

【材料(2人分)】

しめじ 30g なす 70g (1/2本) ブロックベーコン 70g
エリンギ 30g トマト 100g (1/2ヶ) パスタ 160g
まいたけ 30g ブロッコリー30g 白ワイン 50cc
マッシュルーム 25g (2ヶ) パスタ茹で汁 50cc

A

にんにく	2片
鷹の爪	適量
オリーブオイル	70cc

B

塩	小1/4
こしょう	少々

【作り方】

- ① 具材は食べやすい大きさに切る。
- ② たっぷりの水に1%の塩を入れパスタを茹で、茹で上がり2分前にブロッコリーを加える。
- ③ フライパンにAを入れにんにくがきつね色になるまで弱火で炒める。
- ④ ベーコン、きのこ、なすの順に炒め、白ワインを入れアルコールをとばし、トマトを加え少し火を入れる。
- ⑤ ④に茹で上がったパスタ、茹で汁、ブロッコリーを入れ、Bで味を調整する。 ※白髪ねぎや、つけ合わせなどはお好みで♪

管理栄養士の豆知識!



オリーブオイルの主成分であるオレイン酸は美容・健康にいい効果がある脂肪酸として注目されています。オレイン酸は小腸で吸収されにくく大腸まで届くため、便の滑りをよくし、便秘解消・予防効果が期待できます。また動脈硬化の原因となる悪玉コレステロールを減少させるとも言われています。品質のよいエクストラバージンオリーブオイルはポリフェノール、ビタミンEによる抗酸化作用が高く、アンチエイジング効果も♪サラダ、パスタはもちろん、肉や魚料理とも相性がよいので、おいしく食べて健康的な快腸生活を目指しましょう!!(とは言ってもとりすぎは逆効果ですよ)



Medical
recipes

栄養価 (1人分)
エネルギー: 760kcal
たんぱく質: 17.0g
脂質: 45g
食物繊維: 6.0g

はなし×ちくば

チクバ外科胃腸科肛門科病院 広報誌
第20号 2018年10月発行

広報誌「はなし×ちくば」は、患者や医療従事者の皆さんに専門性の高い医療活動をより分かりやすく紹介しています。
タイトルのとおり「はなしかける」ように発信することで、よりよい関係を築いていくことを目指します。

いよいよ増築棟が完成しました。
予想はしていましたが、その中でも新しい職員食堂の利用者数が激増しております。そのあたりのことは次号で紹介できればと思います。
そして、既存棟の改築もスタートしています。年末までまだまだ続きますが完成を楽しみに！



編
集
後
記

ACCESS

当院へのアクセス方法



高速道路から

瀬戸中央道の水島インターで「玉野岡山方面」出口から一般道へ。二つ目の信号交差点「郷内」を右折し、すぐ次の信号を左折（水島インターより約3分）。



一般道から

県道児島線（21号線）を児島方面へ向かい、水島インター手前のガソリンスタンド（ENEOS）のY字路左側。



JRでは

JR瀬戸大橋線の茶屋町駅で下車、タクシーで約10分。



バスでは

倉敷駅前バスステーション6番ホームから下電バス「JR児島駅行き（天城線）」で約40分。「チクバ外科前」バス停にて下車、徒歩約1分。



チクバ外科

胃腸科・肛門科病院

〒710-0142 岡山県倉敷市林2217

TEL 086-485-1755 / FAX 086-485-3500

診療受付時間

午前8:30～11:30 / 午後1:00～5:30

ストーマ外来は予約制です。

<http://www.chikubageka.jp>

	月	火	水	木	金	土	
午前	たき 瀧 上	嶋 村	たき 瀧 上	休 診 日	たき 瀧 上	鈴 木	
	嶋 村	鈴 木	ちくば 竹馬 彰		嶋 村	根 津	
前	ちくば 竹馬 彰	谷 浦	鈴 木		ちくば 竹馬 彰	谷 浦	
	谷 浦	垂 水 (胃腸内科)	根 津		根 津	垂 水 (胃腸内科)	
午後	垂 水 (胃腸内科)		嶋 村		垂 水 (胃腸内科)		
	鈴 木	根 津	嶋 村 垂 水 (胃腸内科)(再診予約)		谷 浦	ちくば 竹馬 彰 垂 水 (胃腸内科)(再診予約)	

2018年4月～